

平成29年3月1日

「角館高校PTA会報」

学校、家庭、地域社会の協働によって

校長 今井 智幸

御卒業おめでとうございます。

晴れやかな今日の卒業式を迎え、これまでのお子様の成長の過程を振り返った時、保護者としての感慨もひとしおのことと存じます。また、これまでの学校へのあたたかい御理解や御協力が厚くお礼申し上げます。

現在、未来を担う子どもたちの豊かな学びを支えていくために、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を自覚し、連携・協力しながら、地域社会全体で子どもたちの「教育」を支援していくことが、重要視されています。これからの変革の激しい時代を、たくましく豊かに「生きる力」を育むために、学校だけではなく、家庭や地域など社会全体で子どもたちの教育に取り組む「協働」の大切さが、改めて再認識されています。

二十一世紀は、政治・経済・文化・産業等、社会のあらゆる領域で、新しい知識、情報や技術が、人間の活動の基盤として飛躍的に重要性を増す「知識基盤社会」の時代とされています。知識・技能が陳腐化しないよう、生涯にわたって学び続けることが求められており、学校教育はそのための重要な基盤です。変化の激しいこれからの社会を生きるために、確かな学力、豊かな心、健康な体といった「知・徳・体」をバランスよく育てることが学校の使命となっています。

一方、子どもは、家族のふれ合いを通して、基本的な生活習慣や人に対する信頼感、豊かな情操、他に対する思いやり、基本的倫理観、自尊心や自立心、社会的マナーなどを身に付けていきます。家庭教育は、これからの未来を支える子どもたちへの“大切な贈り物”とされています。

お子様たちは、これまでの小中高の確かな学びや学校行事、部活動、ボランティア活動等を通して、「生きる力」の源泉である「真の学力」や豊かな人間性、たくましい心身を、着実に身に付けてきたことと確信しています。これらは、家庭や地域との連携や協力があってこそのことです。時代や社会がどんなに変わろうとも、人間の教育に学校と家庭・地域との連携や社会全体の支援が必要であることに変わりはありません。

今後とも、生徒一人ひとりの未来、ここ仙北市の未来、ふるさと秋田の未来、そして二十一世紀という未来を拓く角高生の育成に、職員一同力を合わせて努めていく所存ですので、これまでと変わらない御協力と御支援を賜りますようお願い申し上げます。